

# 分科会 8

## IMR2020 ～いまから みんなで リカバリー～

(IMR = Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー)

出演者： 中村亮太(横浜市立大学附属市民総合医療センター)  
吉見明香(横浜市立大学附属病院)  
藤田英美(横浜市立大学附属病院)  
中村正子(鷹岡病院)  
武井寛道、宮入聖奈(藤沢病院)

Illness Management and Recovery (IMR: 疾病管理とリカバリー) は、リカバリーにとっても有用なプログラムです。IMR は、アメリカ連邦政府による EBP (Evidence-Based Practices) 実施・普及ツールキットシリーズのひとつで、ACT や家族心理教育、援助付き雇用とともに、科学的根拠にもとづいた実践とされています。日本では、2009 年に日本精神障害者リハビリテーション学会から発刊され、全国各地で普及が進んでいます。

この分科会では IMR の概説のほか、IMR を実践している施設から、IMR の実践の様子、IMR がリカバリーにどう役立ったか、また参加者の率直な感想が語られました。今回は初めてのオンラインでの発表でした。事前収録のパワーポイント動画で発表を行い、最後に視聴された方からの質問をうけました。

### ● 「IMR の概要」 藤田英美

IMR の理念や大切にしている事柄、教材の具体的な内容や実践方法など、IMR の概要がわかりやすく説明されました。コロナ禍での参加者の様子についても発表がありました。

### ● 「IMR のデモンストレーション」 中村正子、鷹岡病院の皆さん

鷹岡病院では、デイケアの利用者さんと病棟に入院中の患者さんとでグループを作り、一緒に IMR を学ぶ取り組みを行っています。ファシリテーターもデイケア参加者の方が行いました。鷹岡病院のメンバーで IMR のデモンストレーションを行い、動画にして発表しました。IMR テキストの 4 章『社会の中で支えを増やすには』のデモンストレーションが行われました。人とつながりをもつ方法、人と出会うための場所などについて意見交換が行われ、IMR のセッションの進め方がよくわかる発表でした。

<休憩 5 分>

### ● 「IMR の実践報告」 武井寛道、宮入聖奈、藤沢病院の皆さん

藤沢病院では入院患者さんを対象に病棟で IMR を行なっています。IMR の参加者と実施したスタッフから病棟で IMR を実践してみたの感想が報告されました。病棟での IMR の概要が説明された後、実際に参加された方が IMR に参加してみたの感想や、自身のリカバリー目標などをインタビュー形式で発表されていました。病棟で実践するにあたっての工夫や、参加者の変化がわかる発表でした。

### ● Q and A

IMR をやってみたいと思うと、いろいろな疑問や心配が頭に浮かぶと思います。他のプログラムとの違い、実践にあたっての進め方、IMR の効果についてなど多くの質問をいただき、出演者でみなさんの質問に答えました。



《中村亮太、加藤大慈 (リカバリー全国フォーラム企画委員)》